

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動を、学校と家庭との連携を強化して推進する。 学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。									
平成24年度実績									
PTA研修会の内容を検討し、充実を図った。また、地区別懇談会での学習会充実も行った。 学校通信、学級通信など、各種通信を定期的に発行した。また、ホームページの更新にも努めた。 地区別教育懇談会を開催し、家庭学習や学校での学習の様子などを理解していただき、 学校と家庭との協力関係を構築できた。 男女の特性を理解したうえで家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、 発達段階に応じた年間指導計画でその基盤を学習している。								決算額	
								実績値	
								93%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
研修・学習会等の行事への保護者の出席率が高まり、夫婦で参加する保護者も増加した。 講演会など、各種行事への参加人数の確保が難しい。 発達段階に応じた系統的な学習になるよう、各学年及び各教科部会での研修が必要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
教科(家庭科、社会科、保健体育科)の授業において、家庭教育に関する学習を推進する。 各種通信やホームページ等を利用し、情報発信に尽力する。 各教科及び道徳、総合的な学習の時間、行事を含む特別活動、さらには給食、清掃活動などすべての教育活動において取り組む。 PTA運営委員、学級PTAを中心に、誰もが参加できる行事の運営を工夫する。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	30館	30館	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用して思春期の子どもをもつ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。									
平成24年度実績									
【家庭教育講座】 実施公民館数 :29館 講座実施回数 :88講座 延べ時間数 :157時間 参加者数 :3370人(うち、女性2140人、男性1230人)								決算額	
								471千円	
								実績値	
								29館	
								進捗状況	
4									
事業に対する評価・課題等									
実施公民館数が、平成23年度から1館減少した。 講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になる。職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
【家庭教育講座】(予定) 実施公民館数 :30館 講座実施回数 :101講座 延べ時間数 :137時間								予算額	
								459千円	
								目標値	
								30館	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	2回	5回	充実		継続	●	新規	
事業の概要									
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。									
平成24年度実績									
会 場 宇和島市立奥南小学校 平成24年6月24日(日) 参加者:74名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん 会 場 宇和島市立結出小学校 平成24年11月13日(火) 参加者:30名 「みんなちがってみんないい」 講師 宇和島市立下波公民館長 酒井忠彦 さん 会 場 宇和島市立宇和海中学校 平成24年11月25日(日) 参加者:80名 「みんなちがってみんないい」 講師 のらねこ学かん館長 塩見志満子 さん 会 場 宇和島市立喜佐方中学校 平成25年1月25日(日) 参加者:48名 「自尊感情を育てることは、お互いの人権を尊重すること」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん 会 場 宇和島市立南部小学校 平成25年2月2日(土) 参加者:60名 「みんなちがってみんないい」 講師 宇和島市立下波公民館長 酒井忠彦 さん									決算額
									40千円
									実績値
									5回
									進捗状況
									5
事業に対する評価・課題等									
言葉の大切さや「人権」の意味について、児童にも分かりやすく話をしていただいた。友だちなどの人間関係についても、考え直す機会となり、感想の中にもそのことがよく表れていた。パワーポイントを利用し、変化と機知に富んだお話で、楽しい充実した講演であった。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5
平成25年度予定									
人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を4回程度開催する。									予算額
									40千円
									目標値
									4回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課 [子育て支援]	100%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。									
平成24年度実績									
通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								100%	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
特になし									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年と同様								予算額	
								0千円	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	100%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。									
平成24年度実績									
○一人一人の幼児理解とその特性を生かしながら心身ともに調和的な発達を図るとともに、自分の思いや考えなどを表現することができ、友達の思いにも気付き優しさや思いやりの気持ちをもつことができるよう援助してきた。 ○幼児一人一人の発達の特性を理解し、よりよい成長が図られるよう家庭と連携を図りながら見守ったり援助したりした。 ○一人一人の幼児理解と指導法について研修を重ねていくと共に、幼児同士が互いの良さや思いに気付くよう場を捉えて援助していった。 ○地域の方や身近な人たちに、身近なお話をしていただいたり、一緒に活動できるように努めた。 ○職員の共通理解のもと幼児一人一人の発達や特性に応じた指導を心掛けて保育に取り組んできた。また、保護者学習会で家庭教育の大切さを知らせるなど、家庭の教育への啓発を図ってきた。 ○家族参観日など子育てに関心を示してもらおう機会を設けるとともに、人権同和教育の研修会や保育実践を行う。								決算額	
								—	
								実績値	
								100%	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
○一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし個々に即した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を知らせ、自己抑制ができるように努めるとともに、命の大切さについても知らせていく。 ○幼児一人一人の思いや願いを受け止めながら発達に即した教育を行うことができた。しかし、生活リズムの乱れから欠席が続く家庭については、理解・協力がなかなか得られなかった。 ○互いの良さに気付き、仲よく活動したり、優しく接したりする姿が見られるようになってきている。 ○身近な人たちに、読み聞かせや リトミックを体験させることができた。 ○共通理解のもとで指導を行うことにより、一人一人に応じた適切なかわりができ、思いやりの心を育むことができた。また、保護者の子育てに対する意識の変化がみられるようになった。 ○人権同和研修会等を通して人権の尊重への意識や家庭生活の大切さを理解してもらっている。父親の研修会参加が課題である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
○一人一人の幼児理解と、個々の発達や実態に即した指導の在り方を職員間で研修する場の充実 ○一人一人の幼児理解に努め、幼児の思いや願いを言葉で伝えあう個にあった指導の在り方を推進する。 ○幼児同士がふれ合い、自分の思いをのびのび表現しながら活動できる場の工夫に努め、互いの良さに気付かせていく。 ○引き続き職員間の幼児理解と個に応じた援助等を行うとともに、保護者への啓発に努める。 ○家族参観日 ○人権同和研修会								予算額	
								—	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2 . 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
豊かな心を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	97%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。 児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。 男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。									
平成24年度実績									
教員一人一人の能力・特性を生かした公務分掌の配置。 清掃、体育祭・運動会、遠足、諸活動などを学年を超えて班に分けて行った。 全校児童生徒を対象に「生活アンケート」を毎月行った。 道徳教育・人権同和教育・性教育を充実させ、差別的な言動には、毅然とした態度で指導を行った。								決算額	
								実績値	
								97%	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
組織力を生かした指導が充実していた。 児童生徒からの情報収集ができ、いじめや不登校の事前防止に役立った。 男女平等の意識が高まり、お互いが協力して行事等に取り組む姿勢がいろいろな場面で見られた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
保育園、障害者施設、ケアハウス、老人ホームなどとの交流活動を年間計画に組み込み、充実を図る。 部活動や、交流学习によるふれあいを継続させる。 児童生徒一人一人に目を向けた教育相談の充実を図っていく。 道徳教育の充実を図る。 教職員の人権意識の向上と、協力体制の確立を図る。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)					
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課	1回		充実		継続	●	新規
事業の概要								
様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。								
平成24年度実績								
日 時 平成24年8月9日(水) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テーマ 「私を創ったもの ～部落差別との出会い～」 講 師 大阪教育大学教職員教育研究センター研究協力員 土田 光子 さん 参加人数 479名								決算額
								302千円
								実績値
								1回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
「私を創ったもの～部落差別との出会い」と題して、父から虐待を受ける中、被差別部落の人々との出会いにより、支え合うこと、信じ合うことの大切さを知り、しんどい子どもたちの支えになろうと教師になり、同和地区にある中学校の担任として、家族のようにつながりあう学級づくりを目指し奮闘したその体験を熱く語っていただいた。 参加した教職員からは、しんどい子どもと真摯に向き合う講師の姿に感銘を受けたとの声が多く聞かれた。また、改めて教育を見直すよい機会になったとの感想もあった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
日 時 平成25年8月9日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テーマ 「LD(学習障害)は僕のLD ～認め合うことで見えてくる風景～」 講 師 明蓮館高等学校 共育コーディネーター 南雲 明彦 さん 参加人数 479名								予算額
								417千円
								目標値
								1回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%		充実		継続		新規
事業の概要								
子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。								
平成24年度実績								
○園だより・クラスだより等を通して、園での幼児の姿や育ちを知らせるとともに、家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さ ○いろいろな活動や経験を通して、幼児自身が主体的に考え、行動できるよう場に応じて援助した。その様子を、園だより・クラスだより・保護者学習会・参観日・懇談会等を通して、保護者へ知らせていった。 ○家庭の協力を得ながら幼児一人一人に自尊感情の芽生えを育み、主体的に取り組む幼児の育成を目指してきた。 ○保護者研修会・クラス懇談会・園だより・クラスだより等を通して、幼児の気持ちや保護者の思いを話し合ったり発信したりして、子育ての大切さや楽しさを伝えた。 ○一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切にできる幼児を育てる。								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○保護者との連携を深め、協力しながら幼児の発達の過程や社会の変化に対応し、自分で考え、自分で行動することができる生きる力の基礎を身につけることができるように努める。 ○いろいろな活動に意欲をもって、取り組もうとする姿が見られるようになってきている。幅広い考えができるよう活動内容の充実を図っていく必要がある。 ○幼児にとって、実体験の大切さと必要性、それによる発達の違いなどを実感した。今後も保護者の協力を得ながら、幼児に様々な体験をさせたい。 ○園生活の中で様々な体験を通して、人とかかわる力や表現する力が育ってきている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
○家庭教育啓発の在り方や連携の充実を図る。 ○保護者の実状に適した学習会の内容を取り入れ選択と連携の充実を図る。 ○園生活を通して、様々なことに興味、関心をもち、自己発揮しながら活動できる環境設定の充実や、援助の仕方を考えていく。 ○家庭教育学習会の内容と選択の充実 ○保護者との連携を通して一人一人の課題や問題点を探り、解決に努める。 ○園内研修 ○各研修会への参加								予算額
								—
								目標値
								100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
特別支援教育推進事業	学校教育課	91%		充実	●	継続		新規	
事業の概要									
一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。 校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。 一人一人の良さを生かす教育を推進する。									
平成24年度実績									
特別支援教育支援員を計画的に有効活用した。 個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、実施した。 特別支援教育コーディネーターを中心とし、特別支援教育の校内研修の充実を図った。								決算額	
								実績値	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
個別の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。 支援員との協力のもと、落ち着いた学習活動ができた。 教職員の研修が深まり、個に視点をあてた取り組みをすることができた。 発達障害について、研修を深めることができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
特別支援学級の児童生徒に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に務める。 特別支援学級と協力学級との連携を強化し、児童生徒の居場所づくりに努める。 巡回教育相談等を活用して、特別な支援を必要とする児童生徒に対する指導のあり方についての理解を深める。								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。 キャリア教育の推進。 発達段階に応じた職業意識を育てる。 自己有用感を育てる。									
平成24年度実績									
体験活動を通じて、園児とのふれあい、お年寄りとの交流の機会を設定することで、自己有用感を高めることができた。 個人差への対応のため、補充学習にも力を入れた。 総合的な学習で、産業・歴史・文化等について調べ学習を行い、校区に対する理解を深めることができた。 職業選択の自由の保障、将来の夢や希望を持ち、明るい気持ちで生活しようとする態度の育成に努めた。								決算額	
								実績値	
								85%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
児童生徒にとって、児童生徒会活動・係活動・当番活動で働くことの大切さが理解できた。 活動を通して、男女の協力体制がさらに強まった。 地域を調査することによって、郷土を愛する心がより深まった。 進路についての児童生徒の意識に変化が見られた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
上級生と下級生の交流、活動の活性化と個別の補充学習をいっそう計画的に進めていく。 委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。 社会見学、体験活動の充実を図る。 基礎学力の定着を図り、将来について考えさせる時間を充実する。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。									
平成24年度実績									
○保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた。 ○女性のための職場であるが、常に自分の役割を果たすよう、協力して仕事に取り組んだ。また、PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた。 ○職員会や園内研修などを通して、共通意識をもち協力して仕事に取り組んできた。 ○園内研修を通して、教師自身が男女平等の意識をもち、園運営に携わったり、保護者に対応したりしていった。 ○父親にPTAだよりの原稿依頼を呼びかけた。 ○職員が共通意識をもち、保護者が参加しやすいPTA活動を心掛けてきた。 ○PTA活動の中で、男女参画に関わる学習の機会を提供する。 ○園行事に父親参加を呼びかけ、子育てへの関心をもってもらった。								決算額	
								—	
								実績値	
								87.5%	
								進捗状況	
3									
事業に対する評価・課題等									
○男女協同参画にかかわる家庭教育学習会の機会を提供しさらに推進に努める。 ○PTA活動の中で、家庭教育に関する学習の機会を提供できてよかった。 ○PTA活動の中で、男女共同参画にかかる家庭教育に関する学習の機会を提供する必要がある。 ○園行事やPTA活動の中で、職員、保護者同士が協力し合う姿が見られた。今後も、男女参画に対する理解を深めていけるよう、研修していく必要がある。 ○母親の原稿依頼が大半ではあるが、父親の原稿依頼も出来るようになってきている。 ○保護者のニーズに合った行事日程を組むなど園行事の見直しを行った。地域との交流を含め、PTA活動には、父親の参加も多く協力的である。 ○園行事やPTA活動の中で、父親の参加推進を図ることができた。 ○父親の参加者は多いが、子育てに対する理解には至っていない。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
○人権・同和教育保護者学習会や子育て学習会、PTA活動の充実を図る。 ○幼児への適切な指導のための園内研修やPTA活動を充実する。 ○男女参画に関する研修の場をもち、意識を高めていく。 ○気軽に参加できる行事やPTA活動の実施 ○子育てに関する学習会やPTA活動の精選、保護者だけでなく祖父母も参加しやすい行事の持ち方を工夫をする。 ○園行事やPTA活動の充実 ○園行事を中心としたPTA活動								予算額	
								—	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	88%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。									
平成24年度実績									
教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所による校務分掌を組織することができた。 男女の特性を活かしたPTA活動を行うことができた。(PTA役員への女性の登用) 互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。 地域や学校関係者評価委員と積極的な意見交換を行い、課題の改善に取り組めた。 重点改善指導目標に対して、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。								決算額	
								実績値	
								90%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
適材適所の組織作りができ、スムーズな学校運営ができた。 PTA活動を、男女が協力して取り組む場面が多々見られた。 教職員集団が団結し、共通理解のもと、協力した実践ができた。 学校関係者評価委員会での答申を元に明確になった課題に対して、具体的な改善や問題解決に取り組んだ。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
全員で協力して取り組む組織体制作り。 男女の特性を生かしたPTA活動への参画。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[4] 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
教職員の資質・能力の向上推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
男女共同参画に関わる研修の充実。 教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。									
平成24年度実績									
校内研修の質的充実を図るため、研修内容の多様化に努めた。また、研修会の参加報告をまめに行った。 多くの教員が研究授業を行い、教員の資質の向上に努めた。 校内研修だけでなく、いろいろな研修の機会を設けた。								決算額	
								実績値	
								84%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
多様な校内研修を実施することにより、教員の実務能力を高め、校務に活かすことができた。 教育委員会・教育事務所指導主事より具体的な指導を受けた。 教職員の意識向上が見られた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
教職員の能力・資質の向上のために、計画的な校内研修を行う。 学力向上の推進、学習指導の改善についての研修を行う。 校外で受講した研修内容を報告し、知識・意識の共有化を図る。 スクールカウンセラー等を講師とした校内研修の実施。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 . 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
男女共同参画出前講座	企画情報課 [総務]	0回	5回	充実		継続		新規	●
事業の概要									
市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行うもの。									
平成24年度実績									
H24.5.8 宇和島市女性団体連絡協議会宇和島支部総会「内容・テーマ:自分らしく生きるということ」 H24.7.20 宇和島市男女共同参画審議会「内容・テーマ:男女共同参画とは」 H24.9.24 宇和島市女性団体連絡協議会三間支部「内容・テーマ:幸せな人間関係と夢をはぐむ選択理論」 H25.2.7 宇和島市立番城公民館「内容・テーマ:もっと自分を好きになるコミュニケーション術」								決算額	
								53千円	
								実績値	
								4回	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
幅広いテーマでの出前講座を開催し、男女共同参画について各団体等が考えるきっかけづくりができ、男女共同参画についての理解が深まった。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
昨年度と同様に広報への掲載・関係団体へのチラシ送付等により事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行う。								予算額	
								92千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	34回	15回	充実	●	継続		新規	

事業の概要									
昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。 このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。									

平成24年度実績									
わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 目的：同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。 開催期間：平成25年1月25日～平成25年3月5日 会場：20自治集会所（25自治会区） 参加者数：128名 内容：アイスブレイキング（様々なリボン）、視聴覚教材による人権学習他 推進員：公民館主事、教職員、その他 であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 テーマ：一人ひとりの人権が尊重される町づくりをめざして 会場：16自治会の集会所または公民館（16自治会区） 開催期間：平成24年10月5日～平成24年10月19日 19:30～21:00 参加者：182人 講師：三間町人権教育推進委員（32名：6藩編成）であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会								決算額	
								1,044円	
								実績値	
								41回	
								進捗状況	
								4	

事業に対する評価・課題等									
わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 参加者が年々減少しているため、周知方法や内容等の検討が必要である。 であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう参加者を増やしていくかが課題である。									

男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	

平成25年度予定									
わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 視聴覚教材等を活用して同和問題をはじめとする様々な人権問題について学習予定 予定期日：平成25年10月～平成26年3月（36自治会25会場で講座予定） であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 平成25年度は14自治会で実施予定 開催予定期間：平成25年10月4日～平成25年10月17日 19:00～21:00								予算額	
								950千円	
								目標値	
								39回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 . 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	来場者数 1100人	1000人	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。									
平成24年度実績									
事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田中学校体育館 期日:平成25年2月14日(木) 参加人数:350名 内容:人権啓発作品展示、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(遠見子ども会・宇和島市連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、音楽劇(吉田小学校4年生)、朗読劇(吉田中学校有志) 講演:講師 土田 光子(演題:「人権教育の新たな展開に取り組んで」) 事業名:宇和島市人権を考える市民の集い&人権あったかコンサート 会場:コスモスホール三間 期日:平成24年11月20日(火) 参加人数:670人 内容:三間高校生徒による箏曲演奏、三間中・三間高生徒実行委員会と長島愛生園研修参加児童・生徒による「人権問題学習発表」、人権啓発ポスター展、バザー(ゆいの里) 講演:講師 立木 早絵(テーマ:さらなる一歩を踏み出そう!)								決算額	
								1,303千円	
								実績値	
								1,020人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
事業名:『宇和島市人権を考える市民の集い&人権あったかコンサート』 三間高・三間中学生実行委員会を中心に司会、運営を行うことにより、より主体的に参加する姿勢を養うことができた。また、人権問題学習発表においても、ハンセン病療養所日帰り研修を通して、学校・団体・行政との交流、連携が深まり、ハンセン病に対する正しい理解と、人権が守られる社会を共に築いていかなければならないとの思いを強くすることができた。 講演では、盲目のチャレンジャー立木早絵さんから、「強く生きる」ということを学ぶことができた。 今後も、より大勢の方に参加してもらうことで、日頃の人権学習の成果をアピールする機会としていきたい。									
事業名:『人権をまもる市民の集い』 子どもから大人まで市民を巻き込んだ人権啓発作品の展示、バザー、手話コーラス、人権創作ダンス、人権啓発劇の発表など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、人権をより身近に感じてもらい人権意識の再考に大きく寄与することができた。大阪教育大学非常勤講師の土田光子先生による人権講演においても、参加者一人一人の胸に人権の大切さを伝えることができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
事業名:『人権を考える市民の集い』 会場:宇和島市立津島中学校 期日:平成25年11月(開催日未決定) 内容:人権啓発資料展、太鼓演奏、人権講演会(講師未定) 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 期日:平成25年11月～12月(開催日未決定) 会場:コスモスホール三間 内容:人権講演会(講師未定)、その他の内容についても未定 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 事業名:『人権をまもる町民の集い』 期日:未定 会場:宇和島市立吉田中学校 内容:人権啓発作品展、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会)、人権講演会(講師未定)								予算額	
								1,701千円	
								目標値	
								1,100人	

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[3] 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課			充実		継続	●	新規	
事業の概要									
いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。									
平成24年度実績									
【地区公民館】学級・講座(実施回数) 家庭教育講座:88回 人権・同和教育講座:24回 女性学級:20回 高齢者学級:52回 成人学級:77回 公民館講座:138回 【生涯学習センター】 1. 第20回生涯学習うわじまフェスティバル(参加人数) 夢「であい」魔SHOWコンサート アゲイン:362人 第10回宇和島名作劇場:204人 第15回宇和島文学歴史講座:184人 市民大学(2回):42人 カタリバin宇和島2012:33人 吟遊詩人ライブ:87人 2. 市民講座(実施予定) パソコン講座:30回 クラフトバッグ教室:4回 光る泥だんご作り講座:2回 新聞で作るコサージュ講座:2回 布で作る季節の飾り講座:4回 クリスマスリース講座:2回 ヨーガ教室:2回									決算額
									3,631千円
									実績値
									-
									進捗状況
									4
事業に対する評価・課題等									
各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散して開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4
平成25年度予定									
【地区公民館】 家庭教育講座:101回 人権・同和教育講座:73回 女性学級:36回 高齢者学級:77回 成人学級:59回 公民館講座:132回 【生涯学習センター】 1. 第21回生涯学習うわじまフェスティバル(実施予定) 市民大学3回 第11回宇和島名作劇場 第16回宇和島文学歴史講座 宇和島芸術祭 2. 市民講座(実施予定) パソコン講座:30回 クラフトバック									予算額
									4,550千円
									目標値
									-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 . 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。 いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。 メディア・リテラシーの向上のための学習機会を確保する。									
平成24年度実績									
ホームページ更新のための研修や、ソフト活用のための研修を実施。 総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。 情報主任が、研修職員会でメディア・リテラシーの研修を行った。 長期休業を利用して外部講師を招いた校内研修を行なった。 情報教育の校内研修を実施し、セキュリティについて共通理解を図った。 インターネットや携帯、ブログやラインについて利用方法やマナーについて徹底を図った。								決算額	
								実績値	
								87%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
メディア・リテラシーに対する、教職員の意識が高まった。 総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し、インターネットを通じて、適正な情報収集ができるようになった。 教職員の能力差が大きく、最低限の研修になることがある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話)。 学校ホームページの充実を図る。 情報機器の活用方法の研修を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-